

J☆sKep 2.0点以上向け

1cm 幅の罫線に文章を書く

機能的な目標 2nd

◎△×□などの図形を書く

機能的な目標 1st

8片パズルを順番に並べる

課題解決指向性学習

ここでは、「上から下、左から右の書字のルールに従って、○や△、☆や◎などの図形を書くことができる」について学びます。美しい文字を書くために、曲線や斜線、線の交差などの図形を書くことをとおして、正しい運筆ができるようになります。

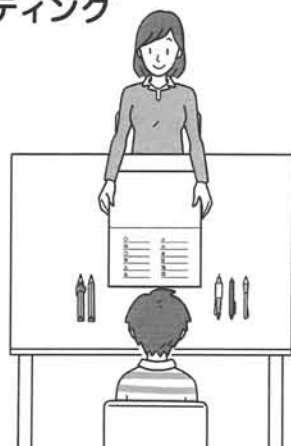
▶ J☆sKep アセスメント ○△×で評価しましょう。

学習態勢	姿勢を一定にして、10秒以上、机上の課題に取り組んだり、大人と机上で向き合って、やりとりしながら課題を成し遂げたりすることができる。
指示理解	指示に応じて（その場で）、10 秒以上、待つことができる。
セルフマネジメント	5分以上、座ったり、横になったりして休むことができる。提示された計画にそって、行動することができる。
強化システムの理解	好きなものや、好きな活動をしてもらうことを期待して、課題を最後まで終わらせることができる。
表出性のコミュニケーション	代替手段（絵カードやVOCA）を利用して、自分の意思を伝えることができる。自分の伝えたいことを、一日20回以上、伝えることができる。
模倣	モデルの人がする一つの動作を、正確に行うことができる。
注視物の選択	少し離れた大人の手元や、机上に示された刺激を、注視したり、注目したりすることができる。二つの刺激のうち、属性（色や形、大きさ、数など）の違いに注目して選ぶことができる。

▶ 教材を準備しよう 教材：たすくスケッチブック A

● 教材のセッティング

子どもの正面に、たすくスケッチブック A「④丸と二重丸」を開いて置きます。形状の異なるシャープペンを用意します。



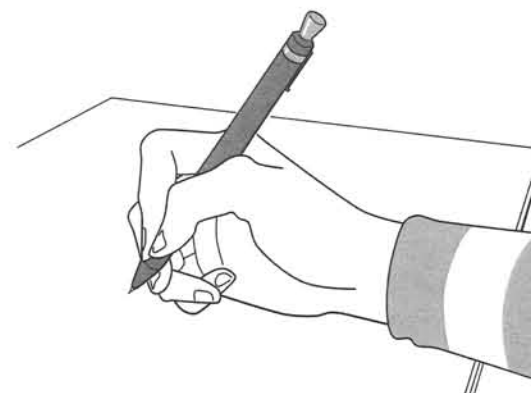
● 教材の使い方

表紙をはぎ取って下敷きとします。見本を指して、「見本と同じ大きさで書いてください」と指示します。



▶ 一画ずつ紙面から話して、図形を書きましょう

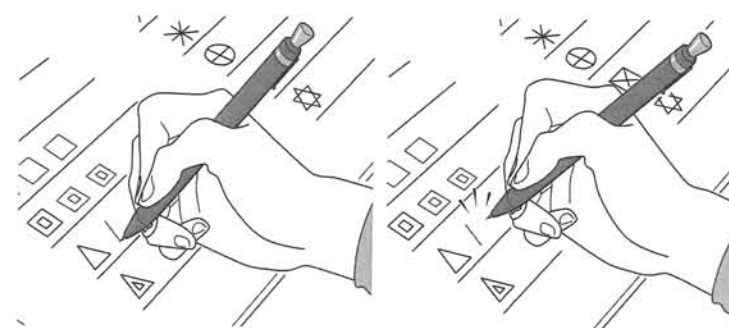
1 シャープペンを持ち、手の側面を紙面に接地して構える。



2 ○や◎を、右回りにペンを動かして、書き写す。



3 △や□を、一画ずつ紙面から離して、書き写す。



4 +や*など、線の交差する図形を、書字のルールに従って書き写す。



5 ○や□、×、+が合わさった文字をバランス良く書き写す。



6 すべての図形で始点と終点を合わせて書く。

